

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	言葉の使い方について、習得の個人差がある。片仮名や漢字を文章中に使うことができ始めている。	文字の読み書きは、家庭学習や朝学習で繰り返し練習するとともに、個別指導を大切にし、頑張りや成果を認める。
	思考力, 判断力, 表現力等	最後まで話を聞いて、内容を理解できる児童が多い。自分の考えを文章に書く力は個人差が大きい。	全体指導での理解が難しい児童には、個別指導を続ける。音読を重視し、文の内容を読み取る力を身に付ける。
	学びに向かう力, 人間性等	国語の授業に対して、概ね意欲的に取り組んでいる。	学び合う関係をつくるために、友達のよいところを認め合う場を設ける。
算数	知識及び技能	「数」について、基礎的なことを理解している。基本的なたし算・ひき算ができる。	計算カード・プリント等を使って、たし算・ひき算の練習を毎日継続していく。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題を把握する時間や作業をする時間の個人差は、大きい。	具体物の操作活動を取り入れたり、学習形態を工夫したりする。
	学びに向かう力, 人間性等	数や計算に興味をもち、意欲的に学習に取り組む児童が多い。	「分かった。」「できた。」という経験が積み重なるようにスモールステップで学習を進める。
生活	知識及び技能	学校の施設や学校生活を支える人々を知っている児童が多い。アサガオなどの身近な植物の世話ができています。	できるだけ実物に触れられるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	学校の生活は、施設や学校生活を支える多くの人々と関わっていることが分かり、楽しく生活しようとする児童が多い。	学校探検などで、実際に校内を巡るなど、体験的な活動を多く取り入れる。
	学びに向かう力, 人間性等	自然や人とのふれあいを喜び、楽しく活動することができている。	活動を振り返って、次の学習への意欲をもたせるように支援する。
音楽	知識及び技能	歌唱では、友達の歌声や伴奏を聞きながら、声を合わせることができる児童が多い。楽器の演奏は、個人差が大きい。	鍵盤ハーモニカでは、教え合いや個別指導をして、基本を定着させる。
	思考力, 判断力, 表現力等	曲想を感じ取り、歌詞の表す情景や気持ちを捉えながら歌える。	様々な曲に触れ、情景や気持ちを想像しながら歌う機会を増やす。
	学びに向かう力, 人間性等	歌を歌うことや楽器を演奏することに意欲的である。楽しく学ぶ様子が見られる。	友達と一緒に活動する楽しさを味わわせる。
図画工作	知識及び技能	鉛筆やクレヨン、絵の具などの使い方は、個人差が大きい。	全体指導の後に、苦手になっている児童には、個別で指導する。
	思考力, 判断力, 表現力等	感じたことや想像したことから、好きな形や色を選んで、どのように表すか考えることができる児童が多い。	日頃から、具体的な例を見せたり、これまでの作品を展示したりする。
	学びに向かう力, 人間性等	図画工作の授業を楽しみしている。友達の作品のよいところを見付けられる児童が多い。	出来上がった作品を子供同士で鑑賞する時間を設ける。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第1学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
体育	知識及び技能	運動経験の差が大きく、運動の技能の個人差も大きい。	授業の中で、体を動かす時間を多くとり、多様な動きを経験させる。
	思考力, 判断力, 表現力等	より楽しくゲームができるように、規則を工夫しようとする考え方ができる児童が少しずつ増えてきた。	人数の少ない集団でゲームをさせ、工夫しやすい雰囲気を作る。
	学びに向かう力, 人間性等	体を動かすことが好きな児童が多い。きまりを守り、仲良く運動できるようになってきた。	準備運動に音楽を取り入れるなど、楽しく体を動かす経験を多くさせる。
特別な 教科 道徳	知識及び技能	<p>発達段階として、自分のことを客観的に見ることは難しいが、友達によさに気づき、それを伝え合うことで、よい友達関係が生まれることが分かっている。</p> <p>規則を守ることが大切だと理解し、しっかり守ろうとするが、なぜ大切なのか理由まで考えられる児童は少ない。</p>	<p>道徳の授業において、話し合う価値項目を理解させた上で、児童の実際の経験の中で、その価値について考えさせる。</p> <p>児童一人一人の考えを大切に、それぞれの考えが尊重される授業を展開する。</p>
	思考力, 判断力, 表現力等		
	学びに向かう力, 人間性等		
学級 活動	知識及び技能	担任の助言をもらいながら、話し合いができるようになってきている。	教師が司会を務めながら、話し合いの仕方を学ばせる。少しずつ、司会グループの役割を児童に任せていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	みんなで話し合っただけ決めたことを実践する楽しさを理解している。自分の考えを伝えることはできる児童が多い。	教師による終末の助言で、提案理由にそった意見を賞賛する。
	学びに向かう力, 人間性等	学級会や話し合い活動を楽しみしている児童が多い。	話し合い活動や集会活動の終末に、児童相互の振り返りの時間を設け、楽しさの共有を図る。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第2学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	知っている言葉や言葉の使い方や漢字を正しく書くことについて、習得の個人差がある。漢字の習得に困難を感じる子が多い。	漢字小テストを定期的に行い、合格してスタンプをもらえるまで何度も挑戦させるシステムにする。ノート指導も適宜行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	文章の読み取りは力がついてきているが, 自分の考えを文章に書く力はあまり身につけていない。	年間を通して, 短い作文を書かせたり文章構成をくり返し指導する。また, 子供の実態に合った題材を用意する。
	学びに向かう力, 人間性等	国語の授業に対して, 概ね意欲的に取り組んでいる。	学び合う関係をつくるために, 感想の交流など, お互いを認め合う場を設ける。
算数	知識及び技能	たし算・ひき算の繰り上がり, 繰り下がり が定着している。計算の正確さに個人差がある。	理解が不十分な児童には, 個別指導を行う。東京ベーシックドリルなどで基礎基本の充実を図る。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題を把握する時間や作業をする時間の個人差が大きい。	具体物の操作活動を取り入れたり, 教材教具を工夫したりする。
	学びに向かう力, 人間性等	数や計算に興味をもち, 意欲的に学習に取り組んでいる。	「分かった。」「できた。」という経験を積み重ねさせる。 学び合う関係をつくるために, 互いの考えを比べたり認め合ったりする場を設ける。
生活	知識及び技能	対象に対して, よく観察したり新しいことに気付いたりできている。	できるだけ実物に触れられるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	自分自身や自分の生活について考えたり表現したりすることができている。	具体的な活動や体験を通して対象と関わり, 自分と対象との関わりを意識できるように声かけ・支援を行う。
	学びに向かう力, 人間性等	自然や人とのふれあいを喜び, 楽しく活動できている。意欲的に学習している。	活動を振り返って, 次の学習への意欲をもたせるように支援する。
音楽	知識及び技能	歌唱では, 友達の歌声や伴奏を聞きながら, 声を合わせることができ る児童が多い。楽器の演奏は, 個人差が大きい。	鍵盤ハーモニカでは, 感染症予防に努めつつ, 個別指導をして基礎を定着させる。
	思考力, 判断力, 表現力等	曲想を感じ取り, 歌詞の表す情景や気持ちを捉えながら歌える。	様々な曲に触れ, 情景や気持ちを想像しながら歌う機会を増やす。
	学びに向かう力, 人間性等	歌を歌うことや楽器を演奏することに意欲的である。楽しく学ぶ様子が見られる。	声や音を合わせて友達と一緒に活動する楽しさを味わわせる。
図画工作	知識及び技能	鉛筆やクレヨン, 絵の具などの使い方は, 個人差が大きい。	全体指導の後に, 苦手にして いる児童には, 個別で指導する。
	思考力, 判断力, 表現力等	感じたことや想像したことから, 好きな形や色を選んで, どのように表すか考えることができる児童が多い。	日頃から, 具体的な例を見せたり, これまでの作品を展示したりする。
	学びに向かう力, 人間性等	図画工作の授業を楽しみしている。友達の作品のよいところを見付けられる児童が多い。	出来上がった作品を子供同士で鑑賞する時間を設ける。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第2学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
体育	知識及び技能	運動経験の差が大きく、運動の技能の個人差も大きい。	授業の中で、体を動かす時間を多くとり、多様な動きを経験させる。
	思考力, 判断力, 表現力等	より楽しくゲームができるように、規則を工夫しようとする考え方ができる児童が少しずつ増えてきた。	人数の少ない集団でゲームをさせ、工夫しやすい雰囲気を作る。
	学びに向かう力, 人間性等	体を動かすことが好きな児童が多い。きまりを守り、仲良く運動できるようになってきた。	準備運動に音楽を取り入れるなど、楽しく体を動かす経験を多くさせる。
特別な 教科 道徳	知識及び技能	<p>発達段階として、自分のことを客観的に見ることは難しいが、友達によさに気づき、それを伝え合うことで、よい友達関係が生まれることが分かっている。</p> <p>規則を守ることが大切だと理解し、しっかり守ろうとするが、なぜ大切なのか理由まで考えられる児童は少ない。</p>	<p>道徳の授業において、話し合う価値項目を理解させた上で、児童の実際の経験の中で、その価値について考えさせる。</p> <p>児童一人一人の考えを大切に、それぞれの考えが尊重される授業を展開する。</p>
	思考力, 判断力, 表現力等		
	学びに向かう力, 人間性等		
学級 活動	知識及び技能	児童だけで、話し合いを進めることができるようになっている。	司会グループには、話し合いの計画を立てる事前の準備で丁寧な指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	自分の考えを発言できる児童が多い。友達の意見を理解して、自分の考えをもてる児童は少ない。	教師による終末の助言で、話し合う理由（提案理由）を意識して、発言できた児童を賞賛する。
	学びに向かう力, 人間性等	学級会や話し合い活動を楽しみしている児童が多い。友達によさに気づいている児童が多い。	話し合い活動や集会活動の終末に、児童相互の振り返りの時間を設け、楽しさの共有を図る。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第3学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の習得に個人差がある。漢字の定着は良好な児童が多い。	ぎんなんタイムで, 言語活動を充実させる。
	思考力, 判断力, 表現力等	相手に伝わるように, 話したり, 文章で書き表したりできる力が付いてきている。	いろいろな形態で意見を交流することにより, 自分の考えを深めたり, 広げたりできるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	漢字練習や音読など, 意欲をもって取り組むことができている。文字を書く丁寧さには, 個人差がある。	児童がめあてをもって活動し, 感想の交流や友達との認め合いなどの振り返りの場を設定する。
社会	知識及び技能	調べたり, 見学してきたりしたことを記録することができる児童が多い。	事前指導の中で, メモのとり方やまとめ方を指導する。
	思考力, 判断力, 表現力等	調べてきたことを地域の人々の生活と関連づけて考え, 表現する力に個人差が大きい。	身近な話題から課題意識をもたせ, 学習問題を作成させる。
	学びに向かう力, 人間性等	地域社会と自分の生活との関わりに関心を持ち, 意欲的に学習に取り組んでいる。	分かったことやさらに調べたいこと, これから自分たちの生活に生かしたいことなどを発表させる。
算数	知識及び技能	四則計算は, 概ね正確にできる児童が多い。コンパスや定規を使った作図作業では, 個人差が大きい。	ICT機器を使い, 作業過程を拡大表示し, 全員が作業を確認できるようにする。併せて, 個別指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題解決の過程で, 自分の考えをもち, 表現できる児童が多い。	課題解決学習の中で, 学び合いの時間を多くし, 友達の考えと比較し, 違いを考えさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	自分の考えを積極的に発言する児童も多く, 意欲的に学習に取り組んでいる。	日常生活の中で, 算数が役立つことを意識できるように, 教材は児童の身近なものを活用する。
理科	知識及び技能	自然の事物・現象については, 知識の有無に個人差が大きい。観察や実験は, 正しく行うことができている。	できるだけ実物に触れさせる。難しい場合は, 映像教材を活用する。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題を解決する過程の中で, 観察や実験を計画する力は個人差が大きい。	課題把握をしっかりとさせた上で, 解決方法を考える時間を十分に与える。友達と考え合う時間を設定する。
	学びに向かう力, 人間性等	自然とのふれあいや友達との学び合いを通して, 楽しく活動することができている。	児童の興味・関心を大切に, 身に付ける力を明確にして単元計画を設定する。
音楽	知識及び技能	呼吸や発音に気を付けて, 自然で無理のない歌い方ができる児童が多い。楽器の演奏は, 個人差が大きい。	友達との学び合いの時間を設け, お互いに教え合わせる。それでも不十分な場合, 個別指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	歌唱や楽器の演奏では, 表現に対する意図をもちながら取り組める児童が多い。	新しい曲に取り組む時は, 曲から感じることを自由に交流する時間を設ける。
	学びに向かう力, 人間性等	音楽の授業にすすんで参加し, 新しい課題に興味を示す児童が多い。	音や曲に関するクイズを導入に取り入れるなどの工夫をして, 学習への意欲を高める。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第3学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
図画工作	知識及び技能	これまで使ってきた用具や材料を適切に扱うことができる児童が多い。	これまでの学習をふりかえり、扱い方を確認してから作業を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	絵や立体に表す活動で、表したいことや用途を考えながら取り組める。	新しい単元に関わる様々な具体例を見せる。自由な発想のできた児童を称賛する。
	学びに向かう力, 人間性等	図画工作の時間を大変楽しみにしている。友達と協働して作品を作ることに意欲的である。	児童同士で作品鑑賞し、よさを伝え合う活動を行う。
体育	知識及び技能	ボールを扱うゲームでは、ボール操作の個人差が大きい。基礎的な体力も、個人差が大きい。	準備運動の段階から、ボールを使った運動を取り入れ、ボールに触れる経験を多く積ませる。
	思考力, 判断力, 表現力等	規則を工夫することで、ゲームをより楽しくできるようになってきている。勝ち負けよりも、競い合う楽しさが分かる児童が多い。	児童の発想が生かされるように、活動の振り返りの時間を多く取る。
	学びに向かう力, 人間性等	体を動かすことが好きな児童が多い。得意・不得意に関係なく、運動を楽しむことができる。	様々な体育の活動に、ゲーム的な要素を取り入れ、運動が楽しいと実感させる。
特別の教科 道徳	知識及び技能	自分と友達を比べることができるようになり、人と違うことを恥ずかしいと思うようになり、考えや判断を回りに合わせる児童が出てくる。 道徳的な価値を素直に受け入れる児童と疑問を感じたり、あえて反対の態度や行動をとったりする児童もいる。	道徳の授業において、児童の実際の経験の中で、道徳的価値について考えさせる。 児童一人一人の考えを大切に、それぞれの考えが尊重される授業を展開する。
	思考力, 判断力, 表現力等		
	学びに向かう力, 人間性等		
外国語活動	知識及び技能	様々な国があり、それぞれ違う言語や文化をもっていることを知っている児童が多い。	映像や音声などの資料を提示して、より具体的なイメージがもてる工夫を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	英語の身近な語句や表現について知っている。日常の場面でも使われていることに気付く児童が多い。	新しく学んだ語句や表現を友達やALTとのコミュニケーションに生かす活動を多く設定する。
	学びに向かう力, 人間性等	外国語やその国の文化に興味をもち、もっと知りたいという意欲のある児童が多い。	日常における外国語や外国文化を紹介する。
総合的な学習の時間	知識及び技能	課題解決のために、図書室の本を活用して調べる児童が多い。	図書館専任司書と連携し、豊富な資料の提示に努める。
	思考力, 判断力, 表現力等	集めた情報を、友達と協力しながら、整理することができるようになってきている。	単元ごとに、探究の目的をはっきりとさせ、その目的を達成するための手立てが適切だったか、振り返りをさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	探究的な学習に積極的に取り組む姿勢がある。	単元の導入時には、身近で具体的な例示をして、興味を喚起する。
学級活動	知識及び技能	司会グループを中心に、自分たちで議題に沿って、話し合い活動ができる。	司会グループには、話し合いの計画を立てる事前の準備で丁寧な指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	友達の意見を大切にすることはできているが、それに対する自分の考えを表現することは、苦手な児童と得意にする児童の二極化が見られる。	教師による終末の助言で、話し合う理由（提案理由）を意識して、発言できた児童を賞賛する。
	学びに向かう力, 人間性等	学級会や話し合い活動を楽しみしている児童が多い。友達のよさに気付いている児童が多い。	話し合い活動や集会活動の終末に、児童相互の振り返りの時間を設け、楽しさの共有を図る。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第4学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の習得に個人差がある。漢字の定着は個人差が大きい。	朝学習の時間を使って言語活動を充実させる。漢字力向上のために, 新出漢字練習の時間を確保する。
	思考力, 判断力, 表現力等	目的を意識して, 話したり, 文章で書き表したりできる力が付いてきている。	いろいろな形態で意見を交流することにより, 自分の考えを深めたり, 広げたりできるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	漢字練習や音読など, 意欲をもって取り組むことができている。文字を書く丁寧さには, 個人差がある。	児童がめあてをもって活動し, 感想の交流や友達との認め合いなどの振り返りの場を設定する。
社会	知識及び技能	調べたり, 見学してきたりしたことを記録することができる児童が多い。	事前指導の中で, メモのとり方やまとめ方を指導する。
	思考力, 判断力, 表現力等	調べてきたことを地域の人々の生活と関連づけて考え, 表現する力に個人差が大きい。	身近な話題から課題意識をもたせ, 学習問題を作成させる。
	学びに向かう力, 人間性等	地域社会と自分の生活との関わりに関心を持ち, 意欲的に学習に取り組んでいる。	分かったことやさらに調べたいこと, これから自分たちの生活に生かしたいことなどを発表させる。
算数	知識及び技能	四則計算は, 概ね正確にできる児童が多い。コンパスや分度器を使った作図作業では, 個人差が大きい。	ICT機器を使い, 作業過程を拡大表示し, 全員が作業を確認できるようにする。併せて, 個別指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題解決の過程で, 自分の考えをもち, 表現できる児童が多い。	課題解決学習の中で, 学び合いの時間を多くし, 友達の考えと比較し, 違いを考えさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	学習内容が難しくなり, 苦手意識を感じ始めている児童もいるが, 粘り強く努力している。	分かる楽しさを味わえる授業となるように, 習熟度別に課題を変える。
理科	知識及び技能	自然の事物・現象については, 知識の有無に個人差が大きい。観察や実験は, 正しく行うことができている。	できるだけ実物に触れさせる。難しい場合は, 映像教材を活用する。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題を解決する過程の中で, 観察や実験を計画する力は個人差が大きい。	課題把握をしっかりとさせた上で, 解決方法を考える時間を十分に与える。友達と考え合う時間を設定する。
	学びに向かう力, 人間性等	観察や実験に興味をもち, 意欲的に学習に取り組んでいる。	児童の興味・関心を大切に, 身に付ける力を明確にして単元計画を設定する。
音楽	知識及び技能	呼吸や発音に気を付けて, 自然で無理のない歌い方ができる児童が多い。楽器の演奏は, 個人差が大きい。	友達との学び合いの時間を設け, お互いに教え合わせる。それでも不十分な場合, 個別指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	歌唱や楽器の演奏では, 表現に対する意図をもちながら取り組める児童が多い。	新しい曲に取り組む時は, 曲から感じることを自由に交流する時間を設ける。
	学びに向かう力, 人間性等	音楽の授業にすすんで参加し, 新しい課題に興味を示す児童が多い。	音や曲に関するクイズを導入に取り入れるなどの工夫をして, 学習への意欲を高める。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第4学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
図画工作	知識及び技能	これまで使ってきた用具や材料を適切に扱うことができる児童が多い。	これまでの学習をふりかえり、扱い方を確認してから作業を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	絵や立体に表す活動で、表したいことや用途を考えながら取り組める。	新しい単元に関わる様々な具体例を見せる。自由な発想のできた児童を称賛する。
	学びに向かう力, 人間性等	図画工作の時間を大変楽しみにしている。友達と協働して作品を作ることに意欲的である。	児童同士で作品鑑賞し、よさを伝え合う活動を行う。
体育	知識及び技能	ボールを扱うゲームでは、ボール操作の個人差が大きい。基礎的な体力も、個人差が大きい。	準備運動の段階から、ボールを使った運動を取り入れ、ボールに触れる経験を多く積ませる。
	思考力, 判断力, 表現力等	規則を工夫することで、ゲームをより楽しくできるようになってきている。勝ち負けよりも、競い合う楽しさが分かる児童が多い。	児童の発想が生かされるように、活動の振り返りの時間を多く取る。
	学びに向かう力, 人間性等	体を動かすことが好きな児童が多い。得意・不得意に関係なく、運動を楽しむことができる。	様々な体育の活動に、ゲーム的な要素を取り入れ、運動が楽しいと実感させる。
特別の教科 道徳	知識及び技能	自分と友達を比べることができるようになり、人と違うことを恥ずかしいと思うようになり、考えや判断を回りに合わせる児童が出てくる。 道徳的な価値を素直に受け入れる児童と疑問を感じたり、あえて反対の態度や行動をとったりする児童もいる。	道徳の授業において、児童の実際の経験の中で、道徳的価値について考えさせる。 児童一人一人の考えを大切に、それぞれの考えが尊重される授業を展開する。
	思考力, 判断力, 表現力等		
	学びに向かう力, 人間性等		
外国語活動	知識及び技能	様々な国があり、それぞれ違う言語や文化をもっていることを知っている児童が多い。	映像や音声などの資料を提示して、より具体的なイメージがもてる工夫を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	英語の身近な語句や表現について知っており、それを使って自分の思いを伝えている。日常の場面でも使われていることに気付いている。	新しく学んだ語句や表現を友達やALTとのコミュニケーションに生かす言語活動を多く設定する。
	学びに向かう力, 人間性等	外国語やその国の文化に興味をもち、もっと知りたいという意欲のある児童が多い。外国語を進んで使おうとしている。	日常における外国語や外国文化を紹介する。
総合的な学習の時間	知識及び技能	課題解決のために、図書室の本を活用して調べる児童が多い。	図書館専任司書と連携し、豊富な資料の提示に努める。
	思考力, 判断力, 表現力等	集めた情報を、友達と協力しながら、整理することができるようになってきている。	単元ごとに、探究の目的をはっきりとさせ、その目的を達成するための手立てが適切だったか、振り返りをさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	探究的な学習に積極的に取り組む姿勢がある。	単元の導入時には、身近で具体的な例示をして、興味を喚起する。
学級活動	知識及び技能	教師の助言をもらいながら、司会グループで話し合い活動の準備をすることができる。	司会グループには、話し合いの計画を立てる事前の準備で丁寧な指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	友達の意見を大切にしながら、自分の考えを伝えることができる児童が多くなってきている。	教師による終末の助言で、友達の考えを生かした発言をした児童を意識的に称賛する。
	学びに向かう力, 人間性等	学級会や話し合い活動を通して、学級の課題解決を図ろうとする意識が育ってきている。	話し合い活動や集会活動の終末に、児童相互の振り返りの時間を設け、楽しさの共有を図る。



# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第5学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	思考に関わる語句を会話や文章で使う力に個人差がある。漢字力の定着にも個人差がある。	語彙を増やすために、語句の意味調べを日常的に行う。漢字力向上のために、新出漢字練習の時間を確保する。
	思考力, 判断力, 表現力等	事実と感想, 意見とを区別しながら話の構成を捉える力に個人差がある。	説明的文章において、事実の部分と感想・意見の部分の違いを叙述に注目させ、根拠を明確に指導する。
	学びに向かう力, 人間性等	授業に一生懸命に取り組む児童が多い。自分の考えを表現することに自信の持てない児童もいる。	ペア学習やグループ学習を多く取り入れる。様々な考えに触れたり共感させたりする。
社会	知識及び技能	我が国の産業や国土についての基本的な知識をもつ児童が多い。地図帳や地球儀で調べることは概ねできている。	資料集や地図帳を常に使いながら、学習を進めさせる。
	思考力, 判断力, 表現力等	我が国の産業の実態が、自分たちの生活とどのように結びついているのか関連させて考える力は個人差が大きい。	その資料から何が分かったか、自分はどうか考えたかなどを、グループや全体で話し合う場を設ける。
	学びに向かう力, 人間性等	我が国の産業や国土の様子に関心をもって、学習に取り組んでいる。	実感を伴った学習ができるように、写真や動画などの具体的な資料を準備する。
算数	知識及び技能	基礎・基本の定着している児童が多い。	東京ベーシックドリルで習熟を図る。習熟が不十分な児童には、個別に指導をする。
	思考力, 判断力, 表現力等	新しい問題場面に出会った時に、これまで学習したことを活用しながら、自分なりの考えや見通しをもてる力に個人差がある。	問題解決の見通しをたてる中で、既習事項の活用を考えさせ、解決後は既習が生かされたことを振り返らせる。
	学びに向かう力, 人間性等	学習に対する基本的な姿勢が身に付いている。挙手は多くはないものの指名すると、自分の考えを披露できる児童が多い。	課題把握を丁寧に指導する。学んだことを日常生活に関連づけて興味関心をもたせる。
理科	知識及び技能	観察・実験をして分かったことや気付いたことを、図や言葉で表現することができている。また、用語についての知識もある。	実物を見せることや映像教材を活用することで、児童が具体的なイメージをもてるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	観察・実験の結果から、自然現象に対する考察をまとめる力は個人差が大きい。	児童の疑問や考えを大切にしてい、筋道を立てて予想させる。予想した根拠を友達と話し合わせる。
	学びに向かう力, 人間性等	観察や実験に興味をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。自然を大切にしている児童が多い。	実物を見せるなど導入を工夫して、興味・関心をもたせる。
音楽	知識及び技能	範奏を聴いたり、楽譜を見たりして演奏できる児童が多い。	耳から入る情報と目から入る情報を活用する指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりの理解は個人差が大きい。	特徴のはっきりした曲を題材として取り上げ、違いを意識しやすくする。
	学びに向かう力, 人間性等	課題に対して、主体的に向き合う児童が多い。音楽の楽しさを生活に活かそうとする態度が見られる。	毎時間のねらいを明確に示し、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにする。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第5学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
図画工作	知識及び技能	表現方法に応じて、材料や用具を活用することやこれまでに学んだことを生かすことができる児童が多い。	一連の学習の中で、振り返りの時間を十分に取って、次の学習に主体的に向き合わせる。
	思考力, 判断力, 表現力等	感じたことや想像したことを絵や立体に表す活動では、形や色、材料の特徴などを考えることができている。	全体指導では、様々な友達の意見を交流させる。
	学びに向かう力, 人間性等	創造的な活動に、意欲的な児童とそうではない児童の差が大きくなっている。	鑑賞活動を通して、造形だけでなく、鑑賞の楽しさにも触れさせる。
家庭	知識及び技能	生活経験の差が大きく、調理や裁縫などの基本的な技能に個人差がある。	グループで学び合いを行う。さらに支援が必要な児童には、個別支援を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	自分の成長には、家族の協力によって営まれていることを自覚している児童が多い。	学習のめあてをはっきりさせ、学んだことが生活のどの部分と結びつくかを考えさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	授業で学んだことを生活に生かそうとする態度の見られる児童が多い。	授業で学んだことを家庭でも実践するように課題を出す。
体育	知識及び技能	用具の扱いには、個人差がある。運動のルールや用具についての知識は概ねもっている。	児童相互の学び合いの時間を多くとる。特に苦手な児童には、個別指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	ルールを工夫したり、自分のチームの良さを理解して作戦を考えたりできる児童が増えている。	チームで作戦を考えたり、それにあわせて練習を工夫したりする時間を設ける。
	学びに向かう力, 人間性等	運動への強い興味で、友達と関わり合いながら、自ら工夫して運動に取り組む児童が多い。	ペア、少人数など、運動の特徴に合わせて友達と関わりながら運動する時間を設ける。
外国語	知識及び技能	基本的な表現を身に付けている児童が多い。また、教員の発音を聞き取り、自分の発音に生かしている。	耳から発音を学ぶ環境を作る。毎時間、キーセンテンスや単語を確認する時間を設ける。
	思考力, 判断力, 表現力等	学んだ表現を使って自分の伝えたいことを相手に伝えている。日常生活の中に見つけ、外国語や外国の文化が日本にも広がっていることを理解している。	言語活動を設定し、自ら伝えたいという思いをもたせる。身近な生活の中に、外国語や外国の文化があることが分かる資料を活用する。
	学びに向かう力, 人間性等	外国語の音声や表現を学ぶことに楽しみながら活動している。	A L Tや友達と、実際にコミュニケーションをとる活動時間を多くする。
特別な教科 道徳	知識及び技能	自分の考えをもつことができる児童が多いが、その考えを発表したり、友達の意見に対する自分の考えを伝えるなどの活動には消極的な児童が多い。 様々な道徳的な価値について、じっくり考える経験は少ない児童が多く、授業を通して、改めて、道徳的な価値について考える経験を重ねている。	道徳の授業において、児童の実際の経験の中で、道徳的価値について考えさせる。 考えたことを児童相互で意見交換し、考えを広げたり深めたりできる授業を展開する。
	思考力, 判断力, 表現力等		
	学びに向かう力, 人間性等		

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第5学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
総合的な学習の時間	知識及び技能	課題解決のために、図書室の本、ニュース、インターネットによる検索を活用して調べる児童が多い。	情報教育との連携を図り、情報収集や峻別させる体験を積ませる。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題解決に向けて、知識や技能を活用する力は、十分とはいえない。また、個人差が大きい。	個人で解決した後に、同じ課題に取り組んだ友達と意見や情報交換し、自分の解決をより良いものとする時間を設定する。
	学びに向かう力, 人間性等	探究的な学習に積極的に取り組む姿勢がある。	単元の終末には、それぞれの学び取ったことを発表し、よさについて意見交換し、次の学習への意欲と課題意識をもたせる。
学級活動	知識及び技能	合意形成の手段として、話し合うことの有効性を理解している。意見が対立した時に、譲り合ったり、歩み寄ったりできるようになってきている。	合意形成に有効だった言動を終末の助言で称賛する。
	思考力, 判断力, 表現力等	話し合いの目的（提案理由）を意識して、発言できる児童が多くなっている。意見はもっていても、みんなの前で表現することには消極的な児童も多い。	学級活動カードに、事前に自分の意見を書き込んでから、話し合い活動に取り組ませる。
	学びに向かう力, 人間性等	学期や年間の見通しをもって、取組を提案できる児童が増えてきている。学級だけでなく、学校のことを考えて取り組み始めている。	学級活動で育てた力をクラブや異学年交流活動でも意図的・計画的に活用させる。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第6学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	思考に関わる語句を会話や文章で使う力に個人差がある。漢字の定着にも個人差がある。	語彙を増やし、言葉の使い方を身に付けるために、音読の課題を多くする。新出漢字練習の時間を確保する。
	思考力, 判断力, 表現力等	事実と感想, 意見とを区別しながら話の構成を捉える力に個人差がある。	説明的文章において、事実の部分と感想・意見の部分の違いを叙述に注目させ、根拠を明確に指導する。
	学びに向かう力, 人間性等	授業に意欲的に取り組み、日頃から文章を書くことや読むことに関心の高い児童が多い。習った言葉を生活に生かすことが十分とはいえない。	全教科において、言葉の使い方や漢字を使用を心がけるように指導する。
社会	知識及び技能	我が国の歴史や政治についての基本的な知識をもつ児童が多い。政治については、初めて知ることが多いという児童がほとんどである。	新聞やニュースの話題を集める活動に取り組みせる。
	思考力, 判断力, 表現力等	我が国の歴史が、現在の自分たちの生活とどのように結びついているのか関連させて考える力は個人差が大きい。	その資料から何が分かったか、自分はどうか考えたかなどを、グループや全体で話し合う場を設ける。
	学びに向かう力, 人間性等	我が国の歴史や政治に関心をもって、学習に取り組んでいる。	歴史上の出来事・人物について興味をもてるように、副教材を多く用意する。
算数	知識及び技能	基礎・基本の定着している児童が多い。	東京ベーシックドリルで習熟を図る。習熟が不十分な児童には、個別に指導をする。
	思考力, 判断力, 表現力等	新しい問題場面に出会った時に、これまで学習したことを活用しながら、自分なりの考えや見通しをもてる力に個人差がある。	問題解決の見通しをたてる中で、既習を生かせるかを考えさせ、解決後は振り返りをさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	意欲的に学習に取り組んでいる。	課題把握を丁寧に指導する。学んだことを日常生活に関連づけて興味関心をもたせる。
理科	知識及び技能	観察・実験をして分かったことや気付いたことを、図や言葉で表現することができている。また、用語についての知識もある。	実物を見せることや映像教材を活用することで、児童が具体的なイメージをもてるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	観察・実験の結果から、自然現象に対する考察をまとめる力は個人差が大きい。	児童の疑問や考えを大切にしてい、筋道を立てて予想させる。予想した根拠を友達と話し合わせる。
	学びに向かう力, 人間性等	観察や実験に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。自然を大切にしている児童が多い。	実物を見せるなど導入を工夫して、興味・関心をもたせる。
音楽	知識及び技能	範奏を聴いたり、楽譜を見たりして演奏できる児童が多い。	耳から入る情報と目から入る情報を活用する指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりの理解は個人差が大きい。	特徴のはっきりした曲を題材として取り上げ、違いを意識しやすくする。
	学びに向かう力, 人間性等	課題に対して、主体的に向き合う児童が多い。音楽の楽しさを生活に活かそうとする態度が見られる。	毎時間のねらいを明確に示し、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにする。

令和2年度授業改善推進プラン

東村山市立南台小学校 第6学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
図画工作	知識及び技能	表現方法に応じて、材料や用具を活用することやこれまでに学んだことを生かすことができる児童が多い。	一連の学習の中で、振り返りの時間を十分に取って、次の学習に主体的に向き合わせる。
	思考力, 判断力, 表現力等	感じたことや想像したことを絵や立体に表す活動では、形や色、材料の特徴などを考えることができている。	全体指導では、様々な友達の意見を交流させる。
	学びに向かう力, 人間性等	創造的な活動に、意欲的な児童とそうではない児童の差が大きくなっている。	鑑賞活動を通して、造形だけでなく、鑑賞の楽しさにも触れさせる。
家庭	知識及び技能	生活経験の差が大きく、調理や裁縫などの基本的な技能に個人差がある。	グループで学び合いを行う。さらに支援が必要な児童には、個別支援を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	自分の成長には、家族の協力によって営まれていることを自覚している児童が多い。	学習のめあてをはっきりさせ、学んだことが生活のどの部分と結びつくかを考えさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	授業で学んだことを生活に生かそうとする態度の見られる児童が多い。	授業で学んだことを家庭でも実践するように課題を出す。
体育	知識及び技能	用具の扱いには、個人差がある。運動のルールや用具についての知識は概ねもっている。	児童相互の学び合いの時間を多くとる。特に苦手な児童には、個別指導を行う。
	思考力, 判断力, 表現力等	ルールを工夫したり、自分のチームの良さを理解して作戦を考えたりできる児童が増えている。	チームで作戦を考えたり、それにあわせて練習を工夫したりする時間を設ける。
	学びに向かう力, 人間性等	運動への強い興味で、友達と関わりあいながら、自ら工夫して運動に取り組む児童が多い。	ペア、少人数など、運動の特徴に合わせて友達と関わりながら運動する時間を設ける。
外国語	知識及び技能	基本的な表現を身に付けている。また、教員の発音を聞き取り、自分の発音に生かしている。	耳から発音を学ぶ環境を作る。毎時間、キーセンテンスや単語を確認する時間を設ける。
	思考力, 判断力, 表現力等	相手意識をもって言語活動を行っている。学んだ表現を日常生活の中に見つけるなど、外国語や外国の文化が日本にも広がっていることを理解している。	言語活動の際、話し方だけでなく聞き方も工夫させる。身近な生活の中に、外国語や外国の文化があることが分かる資料を活用する。
	学びに向かう力, 人間性等	外国語の音声や表現を学ぶことに楽しみながら活動している。すすんでコミュニケーションに活用しようとする児童が多い。	A L Tや友達と、実際にコミュニケーションをとる活動時間を多くする。
特別な教科 道徳	知識及び技能	自分の考えをもつことができる児童が多いが、その考えを発表したり、友達の意見に対する自分の考えを伝えるなどの活動には消極的な児童が多い。 様々な道徳的な価値について、じっくり考える経験は少ない児童が多く、授業を通して、改めて、道徳的な価値について考える経験を重ねている。	道徳の授業において、児童の実際の経験の中で、道徳的価値について考えさせる。 考えたことを児童相互で意見交換し、考えを広げたり深めたりできる授業を展開する。
	思考力, 判断力, 表現力等		
	学びに向かう力, 人間性等		

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立南台小学校 第6学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
総合的な学習の時間	知識及び技能	課題解決のために、図書室の本、ニュース、インターネットによる検索を活用して調べる児童が多い。	情報教育との連携を図り、情報収集や峻別させる体験を積ませる。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題解決に向けて、知識や技能を活用する力は、十分とはいえない。また、個人差が大きい。	個人で解決した後に、同じ課題に取り組んだ友達と意見や情報交換し、自分の解決をより良いものとする時間を設定する。
	学びに向かう力, 人間性等	探究的な学習に積極的に取り組む姿勢がある。	単元の終末には、それぞれの学び取ったことを発表し、よさについて意見交換し、次の学習への意欲と課題意識をもたせる。
学級活動	知識及び技能	賛成意見を積み重ねて、よりよい合意形成が図れることを理解している。司会グループは、何のために話し合うのか考えて、話し合いの計画を立てることができている。	計画的に話を進めることのできた司会グループを称賛する。
	思考力, 判断力, 表現力等	話し合いの目的（提案理由）に沿って、発言できる児童が多くなっている。意見はもっていても、みんなの前で表現することには消極的な児童も多い。	学級活動カードに、事前に自分の意見を書き込んでから、話し合い活動に取り組ませる。
	学びに向かう力, 人間性等	学期や年間の見通しをもって、取組を提案できる児童が増えてきている。学級だけでなく、学校のことを考えて取り組み始めている。	学級活動で育てた力をクラブや異学年交流活動でも意図的・計画的に活用させる。